

津軽ダムだより

200号
2016年
5月13日

洪水時最高水位に到達！



撮影日 平成28年4月19日

【洪水時最高水位に到達し、コンジットゲートより放流する津軽ダム】

平成28年2月13日（土）から開始した試験湛水は、4月18日（月）15時に、「洪水時最高水位（E.L. 216.3m）」に到達しました。到達後、24時間水位を保持する



撮影日 平成28年4月20日

【空中より撮影した津軽ダム】

ことから、19日は、朝から、非常用洪水吐から水が流れ出る瞬間を見ようと大勢の人が展望所を訪れました。また、コンジットゲートから放流するときには、その瞬間を見ようと県内外から訪れた人で長蛇の列ができ、放流した際には、迫力ある放流シーンをご覧になった来場者から大きな歓声が上がりました。

平成28年度 津軽ダム予算概要

いよいよ津軽ダム
完成に向けて最終段階へ！

平成28年度の津軽ダム建設事業費は約69億54百万円（前年度比約0.44倍）で、平成28年2月13日から開始している試験湛水を継続、また本体工事を完成させるとともに、貯水池周辺工事等を仕上げます。

引き続き、安全管理や事業監理をさらに徹底し、平成28年度中の一日も早い完成に向け取り組んでまいります。

◇平成28年度事業の主な内容

■試験湛水及びダム本体工事

試験湛水を継続し、ダム本体や基礎地盤及び貯水池周辺地山等の安全性を確認します。

また、本体工事中に目屋ダムからの水を流していた堤内仮排水路をコンクリートで閉塞します。また、本体付属施設（天端高欄、天端舗装）を行いダムを完成させます。

2月13日より試験湛水が開催され4月18日15時には洪水時最高水位（EL＝216.3m）に達しました。今後も緊張感をもって実施していきます。



【洪水時最高水位時の津軽ダム】

■貯水池関連工事

管理所周辺の外構や、ダム管理用通路などの周辺整備工事を仕上げ、ダム管理に向けた最終準備を行います。



【周辺整備を行う原石山跡地】

■その他

水理・水文の調査及び猛禽類等の環境調査を継続して実施します。



【津軽ダム周辺に生息するクマタカ（幼鳥H26年生まれ）】

本体工事安全祈願祭 安全第一、無事故・無災害を再確認

4月5日(火)、春の澄み切った青空のもと、津軽ダム^{てんば}天端を会場に、平成28年度津軽ダム本体工事安全祈願祭が執り行われました。

安全祈願祭には、本体工事の関係者約60名が参列しました。神事は厳かに執り行われ、岩木山神社の神職による祝詞奏上に引き続き、津軽ダム工事事務所副所長、東北電力(株)津軽発電所建設所長、工事関係者が玉串を奉納して工事の安全を祈願しました。



【関係者一同 無事故・無災害を祈願】

安全祈願祭終了後、津軽ダム工事事務所加藤副所長から工事関係者に向け「津軽ダムは今年度の完成を目指しており、試験湛水は順調に推移している。昨年度の事故件数は一昨年に比べ倍増しており、作業の慣れ、確認不足が要因となっている。ダム完成まで安全第一、無事故・無災害で工事を進めてほしい。」と挨拶がありました。

津軽ダム本体工事は、試験湛水を継続しながら発電導水路の閉塞や跡地整備が急ピッチで行われます。本格的な工事再開を前に、安全意識を高め、工事事故防止を改めて決意しました。



【切麻散米（折からの風に舞う紙吹雪）】



【玉串奉奠（加藤副所長）】



【玉串奉奠（JV鈴木所長）】



【加藤副所長から関係者へ挨拶】

「津軽ダム水源地ビジョン」が策定されました

— 第3回津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会にて最終審議 —

津軽ダムでは、平成28年3月15日（火）弘前商工会議所にて「第3回津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会（有識者、地域住民代表、関係団体、関係行政機関で構成）」を開催しました。

委員会では、ダム完成後における周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材などを活用し、水源地域の自立的・持続的な地域活性化にむけた具体的な活動メニューやビジョン推進のための体系・体制などについて最終審議を行いました。



【青森公立大学学長 香取委員長】

委員会の結果を踏まえ「津軽ダム水源地域ビジョン」が策定されました。

ビジョンでは「地域の将来像」を見すえて次のような取り組みを提言しています。

今後、地域のみなさんが中心となって実践していくものです、津軽ダムでもできる限りの支援を行いますので、少しずつ出来ることから参加・協力よろしくお願いします。

< 水源地域の活性化に向けた取り組み >

水源地域の将来像「世界遺産と水源の里」の誇りを未来へ発信する

四つの基本方針を掲げました。



自然の恵みを守る

水源地域の豊かな自然環境を守るため、NPO法人等連携して環境保全活動等に取り組みます。



■ 水源地フィールド



津軽白神湖を活かす

津軽白神湖の広大な湖面を観光や学習の場として活用します。



■ 水陸両用バス



にぎわいを生み出す

地域がにぎわう場を創出するため各団体等と連携して、魅力のあるイベントを行います。



■ 冬フェスティバル



文化を伝える

西目屋村の歴史や文化を次世代へ継承するため、歴史・文化資源の掘起こし、伝えていきます。



■ 目屋豆腐

現在まで、活性化に向けた取り組みとして、カヌー体験や水陸両用バス運行・冬季のイベントなど実施してきたところです。今後、策定委員会の提言をうけ、水源地域を含む広域の関係者が協力・連携していくための組織を設置し水源地域ビジョンの活動を着実に行動に移していきます。

＜ダムツーリズムによる地域活性化について討論＞

～約550名が聴講、現場見学へは約300名が参加～

4月20日（水）ダムツーリズムを考える首長の会（三条市長・横手市長・西目屋村長）では、ダムに関心のある方々を交えて「ダムツーリズムを考える会」を西目屋村中央公民館で開催しました。前半の講演ではダムマニアでダムライターの宮島咲氏が、ダムマニアから見たダムの魅力や誘客の秘訣等を、茨城県初のダムツアーを企画成功させたJTB関東水戸支店の西島佳子氏が苦労した点や成功のポイント等を紹介、後半のパネルディスカッションでは、首長の会の3名を交えてダムツーリズムによる地域活性化について意見を交わし、約550名が聴講しました。また、午後の現場見学会へは約300名が参加し、ダムの放流や満水になった貯水池を見学しました。



【パネルディスカッションの様子】

試験湛水中の迫力ある放流シーンをご覧ください！！

4月1日（金）から津軽ダム本体工事現場が間近から見られる津軽ダム展望所の一般開放を再開しました。展望所は、平成23年6月から開放され、平成27年12月まで延べ21万5千人を超える方々が来場しております。今年は、完成間近の津軽ダムを少しでも早く皆様にご覧になっていただきたく、例年より早い一般開放となりました。

津軽ダムは、2月から試験湛水を行っており、4月18日には、洪水時最高水位に到達し、現在、ゲート放流を行っていますので是非、間近から迫力ある放流シーンをご覧くださいと思います。

また、4月23日から5月8日までは、ライトアップを行いました。ゴールデンウィーク期間中ということもあって、大勢の方々が来場し、津軽ダムの夜景を楽しんでいただきました。

今年も多くの方々に、山々の四季の移り変わりを背景に、いよいよ完成が近づいている津軽ダムを間近からご覧いただきたいと思います。

世界遺産(自然遺産)に登録された白神山地を訪れられた際は、是非、展望所にお立ち寄りいただければと思います。



【迫力ある放流シーンをご覧ください！！】



【展望所は放流シーンを見ようと大勢が来場】



【ライトアップした津軽ダム！】

津軽ダム展望所

開放時間 8時00分～17時00分

* 事前に事務所にご連絡いただければ展望所でのご説明もいたします。

現場見学会のお知らせ

☆『グループ・団体』での見学希望の皆様

津軽ダム工事事務所では、工事現場などの見学を皆様からの申し込みなどにより実施しています。(申込方法は、ホームページでご確認いただけます。)

現場を見学する方法としては下記のとおりとなります。

- ①団体を対象とした申し込みによる見学(原則平日のみ対応)
- ②個人を対象とした事務所からの募集による見学

	①	②
申し込み	必要(随時)	必要(募集時)
対象	職場・団体等	個人
日時	平日 9時～17時	平成27年度は、6月・9月・11月・2月の土曜日に実施
現場説明	事務所担当者が随行し、説明	事務所担当者が随行し、説明
所要時間	1時間～1時間30分 (事務所からの往復時間を含む)	2時間 (事務所からの往復時間を含む)
交通手段	申込者の負担で確保	事務所～現場間は、津軽ダム工事事務所でバスを用意します。
その他	見学日時については、現場の状況等により調整させていただくことがあります。	



【①展望所からダムを間近に見ました(西目屋小学校)】



【②監査廊内を見学(平成27年11月見学会)】

※ 現場見学会については、津軽ダム工事事務所ホームページで確認できます。

トップページから『見学の申込み』をクリックしていただければ、申込用紙のダウンロードなどができます。

★ 編集後記 ★

洪水時最高水位に達した4月18日～19日にかけて、展望所には、大勢の人が訪れました。GW期間中には、津軽ダムのライトアップも行い、ライトアップされた津軽ダムからの放流シーンは、迫力抜群であり、夜景もすごくきれいでした。4月18日～5月8日までの間、展望所には、約1万人が来場し、改めて皆様の津軽ダムへの関心の高さを感じました。これからも、完成が近づく津軽ダムを皆様に情報発信していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。(佐々木)

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
津軽ダム工事事務所

〒036-1411

青森県中津軽郡西目屋村田代字神田57

TEL 0172-85-3005

FAX 0172-85-3008

津軽ダム工事事務所

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/tugaru>

